

## 「囚われて何をするか。」 創世記40章1～8、20～23節

現代の刑務所生活は、週40時間労働で土日祝日は休み、時給数十円で月に約4千円の収入、シャワーは短時間で週2回、トイレは休憩時間のみ、トイレ紙は月300枚、食事は労働食で1600Kカロリー、座り作業で1300Kカロリー、刑吏には絶対服従で自由がなく、8畳程度に5、6人が生活し、プライベートはないそうです。

祈りながら、霊的監獄にいる人々がいることも思いました。

### ・ 人間的監獄

監視や拘束、強制をする人々に囲まれて、自由に生きられない。

### ・ 経済的監獄

生活に支障のあるくらい収入しかないので何もできない。

### ・ 障害・病氣的監獄

障害や病気のせいで、思うようなことができない。

### ・ 年齢の監獄

高齢や若さのせいで出来ない。

### ・ 環境的監獄

閉鎖的・因習的環境を抜け出すことが難しく、情報も得られない。

### ・ 思考的監獄

自分の囚われた考えから抜け出せない。

### ・ 欲望と快楽の監獄

快楽に溺れて抜け出せない。

### ・ 罪と犯罪の監獄

罪を犯すことを止められない。

神や仏に祈るといつても、お題目を唱えるだけで、神から聞こうとしておらず、自らのできることや役割を考えていない人は多いものではないのです。つまり、自分の思考や生活習慣に囚われており、そこから抜け出せないのです。自ら監獄を作っているのです。私は、地方の中高齢層がこのような偏見の中に囚われて暮らし、そこから抜け出そうとしていないで福音を受け入れないことに途方にくれます。かれらは、罪の生活から解放されることを全く考えておらず、求めてもいないのです。

「何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。」(ピリピ4・6)。これはクリスチャンの極意です。決して、因習に生きる不信者に惑わされてはいけません。

ヨセフは、兄たちに殺されかかり、奴隷に売られ、主人に見放されて監獄に入りました。それでも、めげずに誠実に努力し、人々の好意を得

ました。当時、監獄に入れれば出ることは難しく、その囚人たちはあれ荒んでいたはずで、「しかし、主はヨセフとともにおられ、彼に恵みを施し、監獄の長の心になかうようにされた。」(39・21)。

ヨセフは、囚人として入っても、決して卑屈になったり、悪に染まったりしませんでした。私たちクリスチャンが、神の祝福を得る為に必要なことは、「神の国と神の義を第一とする。」(マタイ6・33)ことです。これできずに、世の人々や因習を気にするならば、私たちは霊的監獄に入っているのです。それでは神の祝福を得ることはできません。

「神から生まれた者はみな、世に勝つからです。私たちの信仰、これこそ、世に打ち勝った勝利です。」(Iヨハネ5・4)。

百歳以上の高齢者は9万人もいて、その人々の特徴は、「毎日のルーティンがある」、「ポジティブな性格」、「食べ物の好き嫌いが少ない」、「タバコを吸わない」、「身だしなみに気を遣う」、「定期的に運動をする」、「社交的になる」、「ストレスを溜めない」などだそうです。更に105歳以上は6500人、110歳以上は141人だそうです。110歳以上の人は、認知機能が高く、糖尿病や高血圧、腎臓機能も良く、心臓の働きが良いことだそうです。また外出もしてよく歩くそうです。

手術・入院して自覚したことは、甘えて生きたら身体が衰えるばかりだと思えました。神に忠実に生きる為には、120歳まで生きる努力をすることが大事だと悟った次第です。

祈祷会で話しましたが、パウロはローマで囚人として暮らしながら、逃亡奴隷オネシモを救いに導き、成熟したクリスチャンに育て、「彼は、以前はあなたによって役に立たない者でしたが、今は、あなたにとっても私にとっても役に立つ者となっています。」(ピレモン2)となっています。パウロは、「私の様子や私が何をしているかを、あなたがたもわかつてもらうため」(エペソ6・21)、弟子を遣わします。それは、「あなたがたが真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」(ヨハネ8・32)と教えるためです。

努力と誠実さを失わないヨセフが夢を解き明かした献酌官長は、ヨセフのことを忘れてしまいました。17歳で奴隷に売られたヨセフが、パロ王に用いられるのは30歳です。13年間、ヨセフは多くの試練にもめげずひるまず、神を信じ続け、努力を続けたのです。

## 1. 信仰に生きるキリストの弟子の養成

主の弟子は状況に左右されず聖霊に聞き従い、神を信じ人を信じて人々の救いと解放をもたらす。十字架に死んで神と共に生きるとは、自分と人々の罪からくる咎を覚悟し信仰と希望と愛とを持って福音の祝福の中に生きることである。キリストの弟子の養成こそ教会の使命である。

## 2. 真理と祈りと讚美に満ちた信仰生活の指導

聖書の教え、真理は人を自由にする。祈りは問題や悩みを解決し、神の御心を確認する。讚美は癒しと喜びと力を与える。教会はそれらを教え指導し、互いの交わりの中で模範を造り出していく。

## 3. キリストを頭として愛によって結び合わされた共同体の形成

教会には多種多様な人々が神によってこの世から召し出されてくる。この信者を整え、神への奉仕という使命を果たすように導くには、キリストの弟子として十字架を負い主に従う指導者層が確立されなければならない。整えられ愛し合い一致した教会こそ神の栄光が現され成長する。

## 4. 隣人に対する愛に基づいた執り成しと伝道の実践

神を愛する人は人をも愛し、行いを伴う信仰を持つ。真理を知らず罪と咎によって苦しんでいる人々を愛し、執り成し、福音を伝えることによってこそクリスチャンは成長し、祝福される。

## 5. 地域と社会に貢献する魅力的な教会員の歩みと家族形成

教会と教会員の活動・事業・啓発運動を展開し、社会に影響を与えながら、同時に愛し合う家族を形成し、接する人々に福音を現していくことが、日本のリバイバルに必要であると私たちは信じる。

# 今週の聖書

### 【新改訳 2017】

創 40:1 これらのことの後、エジプト王の献酌官と料理官が、その主君、エジプト王に対して過ちを犯した。

40:2 ファラオは、この献酌官長と料理官長の二人の廷臣に対して怒り、

40:3 彼らを侍従長の家に拘留した。それは、ヨセフが監禁されているのと同じ監獄であった。

40:4 侍従長がヨセフを彼らの付き人にしたので、ヨセフは彼らの世話をした。彼らは、しばらく拘留されていた。

40:5 さて、監獄に監禁されていた、エジプト王の献酌官と料理官は、二人とも同じ夜にそれぞれ夢を見た。その夢にはそれぞれ意味があった。

40:6 朝、ヨセフが彼らのところに来て、見ると、彼らは顔色がすぐれなかった。

40:7 それで彼は、自分の主人の家に一緒に拘留されている、このファラオの廷臣たちに「なぜ、今日、お二人は顔色がさえないのですか」と尋ねた。

40:8 二人は答えた。「私たちは夢を見たが、それを解き明かす人がいない。」ヨセフは言った。「解き明かしは、神のなさることではありませんか。さあ、私に話してください。」

40:20 三日目はファラオの誕生日であった。それで彼は、すべての家臣たちのために祝宴を催し、献酌官長と料理官長を家臣たちの中に呼び戻した。

40:21 そうして献酌官長をその献酌の役に戻したので、彼はその杯をファラオの手に献げた。

40:22 しかし、料理官長のほうは木につるした。ヨセフが彼らに解き明かしたとおりであった。

40:23 ところが、献酌官長はヨセフのことを思い出さず、忘れてしまった。

Gen 40:1 It came to pass after these things that the butler and the baker of the king of Egypt offended their lord, the king of Egypt.

40:2 And Pharaoh was angry with his two officers, the chief butler and the chief baker.

40:3 So he put them in custody in the house of the captain of the guard, in the prison, the place where Joseph was confined.

40:4 And the captain of the guard charged Joseph with them, and he served them; so they were in custody for a while.

40:5 Then the butler and the baker of the king of Egypt, who were confined in the prison, had a dream, both of them, each man's dream in one night and each man's dream with its own interpretation.

40:6 And Joseph came in to them in the morning and looked at them, and saw that they were sad.

40:7 So he asked Pharaoh's officers who were with him in the custody of his lord's house, saying, "Why do you look so sad today?"

40:8 And they said to him, "We each have had a dream, and there is no interpreter of it." So Joseph said to them, "Do not interpretations belong to God? Tell them to me, please."

40:20 Now it came to pass on the third day, which was Pharaoh's birthday, that he made a feast for all his servants; and he lifted up the head of the chief butler and of the chief baker among his servants.

40:21 Then he restored the chief butler to his butlership again, and he placed the cup in Pharaoh's hand.

40:22 But he hanged the chief baker, as Joseph had interpreted to them.

40:23 Yet the chief butler did not remember Joseph, but forgot him.